

# 2024年度 内村鑑三記念キリスト教講演会

**日時** 2025年3月20日(木・春分の日)  
午後2時～

**会場** 大阪クリスチャンセンター  
2階・多目的ホール

**司会** 武田芳彦氏(みかげ聖書集会)

## 講師・演題

雑賀光宏氏 (みかげ聖書集会)

「主の導きに感謝」

月本昭男氏 (経堂聖書会)

「行間に目を凝らして聖書を読む」

**会費** 千円(学生五百円)

- ・終了時に若干の質疑応答時間を設けます
- ・感謝夕食会はありません

問合せは津崎哲雄 (06-6370-4865 か tsuzaki@cat.zaq.jp まで)

## 講師紹介

雑賀光宏(さいかみつひろ) みかげ聖書集会・世話役

1941年名古屋市港区に生まれる。1960年名古屋市立桜台高校商業科卒業。同年3月住友金属工業(株)和歌山製鉄所労務部安全厚生課勤務。以降、本社勤労課、中央技術研究所人事課、佐賀県・半導体製造会社出向、住友金属テクノロジー(株)出向。和歌山勤務時代に労働組合活動の中で、1963年高橋守雄氏の聖書研究会に参加。1972年～2012年まで国道25号バイパス建設反対運動に関わる。2002年から法隆寺を中心とする「斑鳩の里 観光ボランティアの会」でガイド活動を続けている。

月本昭男(つきもと・あきお)

1948年、長野県生まれ。1971年、東京大学文学部卒業。同大学院人文社会科学研究科中退。ドイツ・チュービンゲン大学修了(Dr. Phil.)。1981年より立教大学一般教育部、文学部、コミュニティ福祉学部を経て、2014年3月、同大学キリスト教学科教授退任。同大学名誉教授。2014年4月～2022年3月、上智大学特任教授。同大名誉教授。この間、古代オリエント博物館館長(2016年6月～2024年6月)、(公財)東京大学学生キリスト教青年会代表理事(2020年6月～現在)などをつとめる。

著書に『詩篇の思想と信仰』(シリーズ全6巻、新教出版社)、『古典としての旧約聖書』(聖公会出版)、『古代メソポタミアの神話と儀礼』(岩波書店)、『旧約聖書に見るユーモアとアイロニー』(教文館)、『この世界の成り立ちについて 太古の文書を読む』(ぶねうま舎)、『物語としての旧約聖書』(NHK出版)など。原典翻訳、訳注、解説に『ギルガメシュ叙事詩』『創世記』『エゼキエル書』(いずれも岩波書店)、『バビロニア創世叙事詩 エヌマ・エリシュ』(ぶねうま舎)、など。編著に『創成神話の研究』(リトン)、『宗教の誕生—宗教の起源・古代の宗教』(山川出版社)など。など。

信仰歴:大学2年まではプリマスブレズレン系の集会所属。以後、無教会世田谷日曜聖書講座(前田護郎主宰)参加、前田護郎召天後は、1980年9月に発足した経堂聖書会に所属。